2017年12月期　第1四半期決算説明会

GMO TECH

東証マザーズ<６０２６>

2017年4月27日

1. 結論と要約
2. 第1四半期決算概要
3. セグメント別概況
   ①アドテク事業
   ②O2O事業
4. 総括

決算サマリ

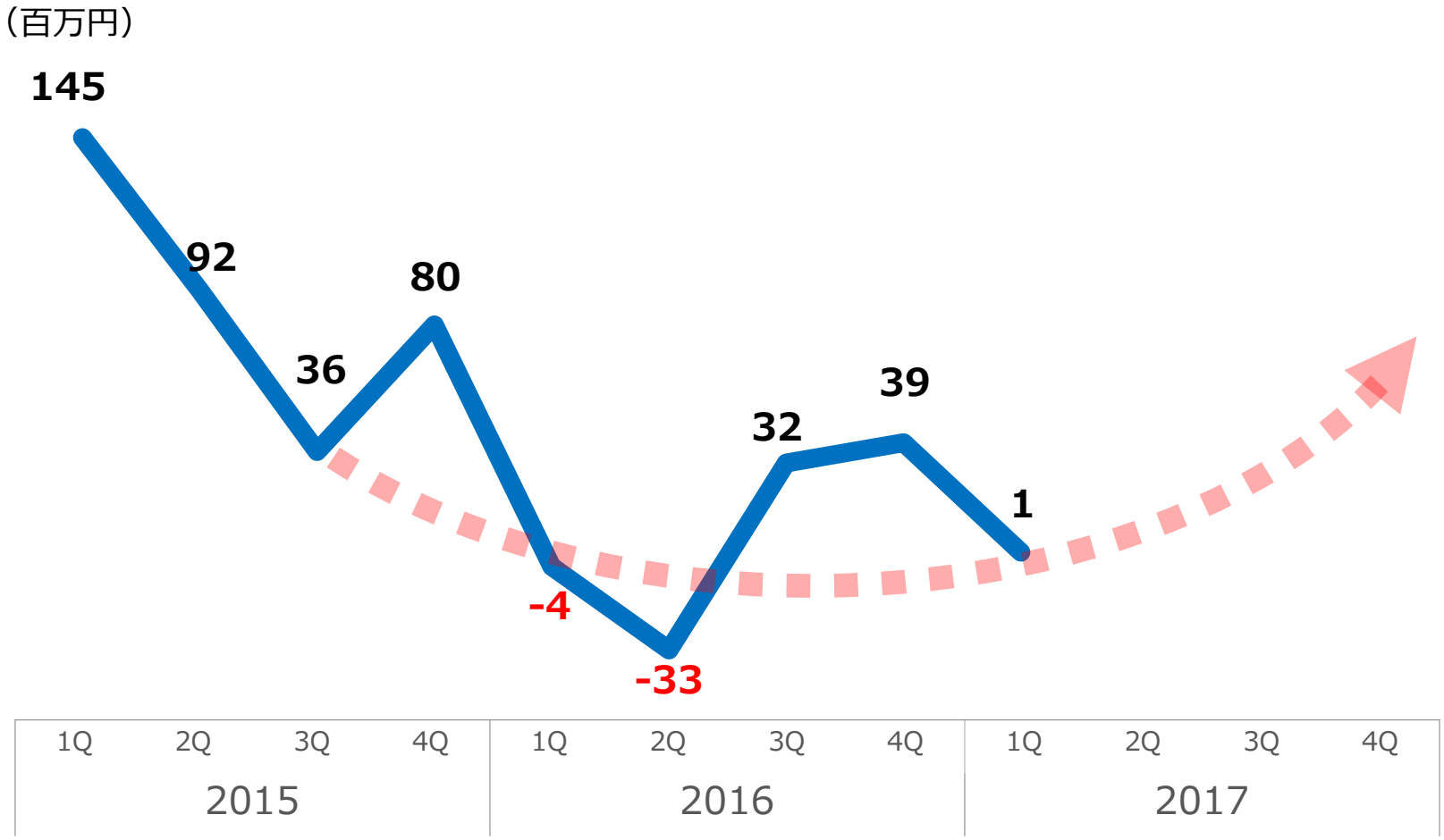
第1四半期は一時コスト計上も
構造改革進み収支改善

単位：百万円	2016年 1-3月	2017年 1-3月	対前年
売上高	855.7	673.4	-182.3
営業利益	-4.1	1.1	+5.3
経常利益	-4.8	0.8	+5.7
当期純利益	-10.2	-0.8	+9.4

日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

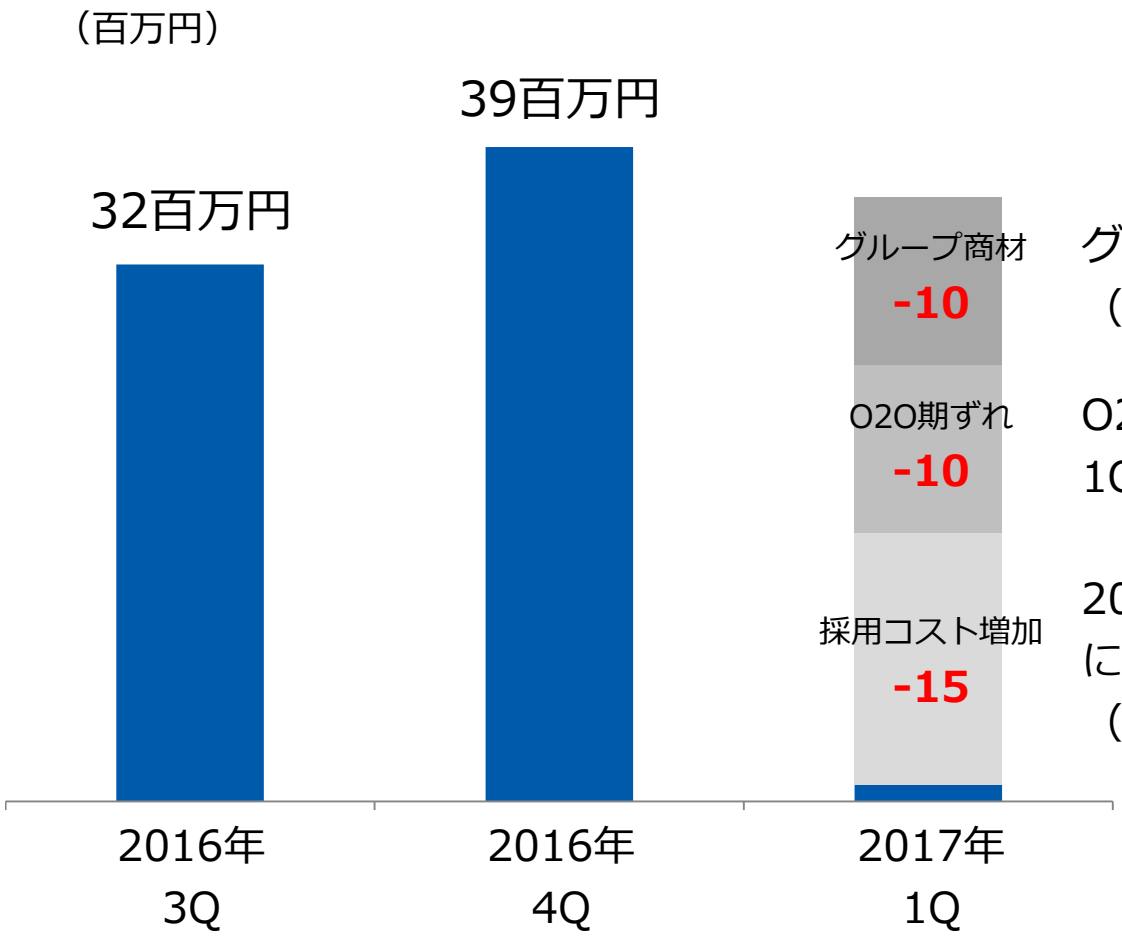
全社営業利益の推移

O2O事業の計上が2Qスライドすることや採用費の一時的影響等で2017/1Qは営業利益1百万円



全社営業利益の推移

一時コストの影響により1Qは利益が減少



グループ販売のSEOが営業人員減
（2Qより自社販売体制強化）

O2O事業でIT補助金を活用した
1Q販売分が2Qに計上（2Q利益増）

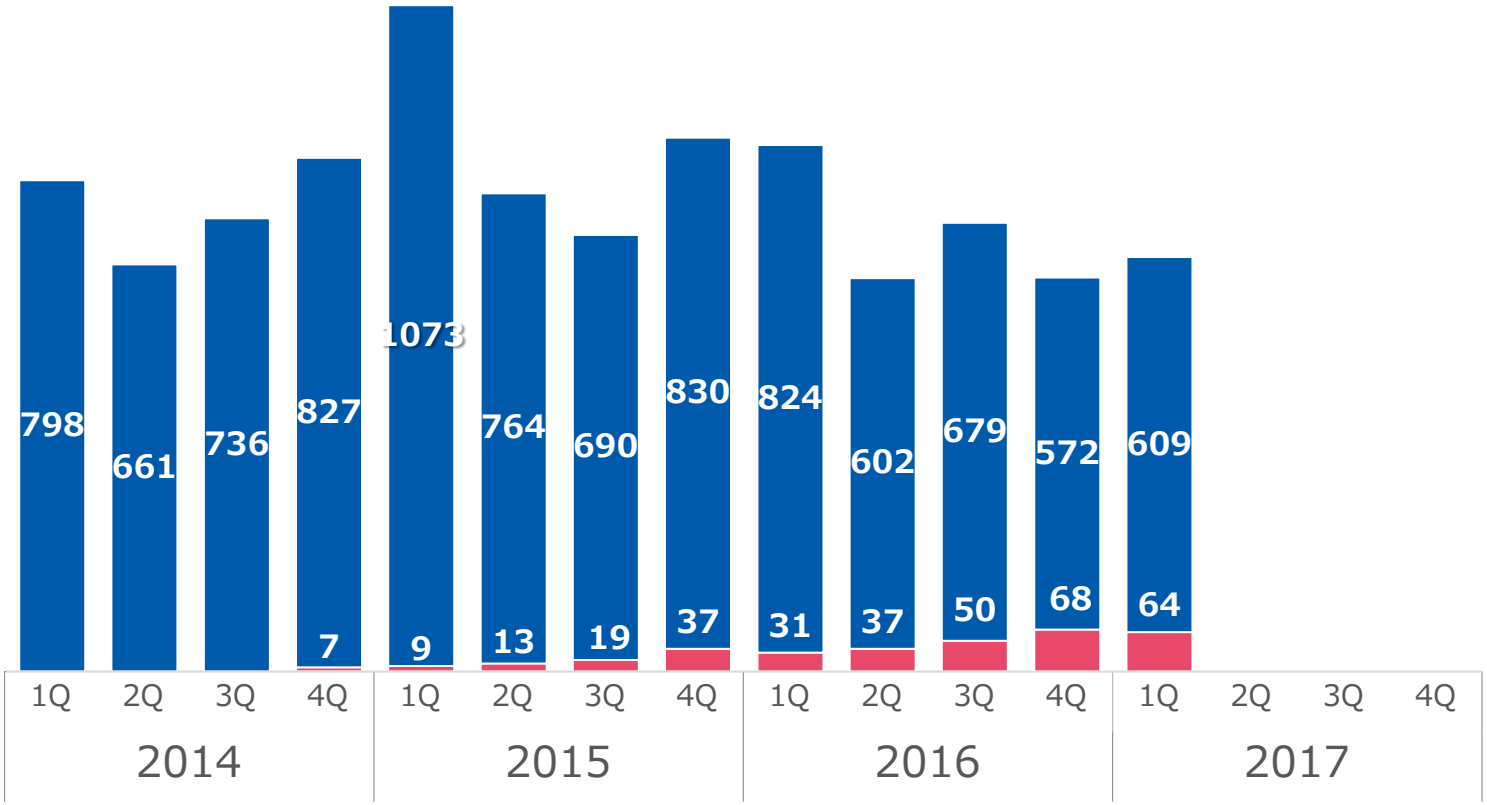
2016/3Q採用費2百万、4Q 5百万
に対し2017/1Qは17百万円と増加
（一時要因）

日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

セグメント別売上

アドテク事業はアプリ広告の減少を別商材で埋めつつ売上の回復を図る。O2O事業は安定的に成長路線

（単位：百万円）

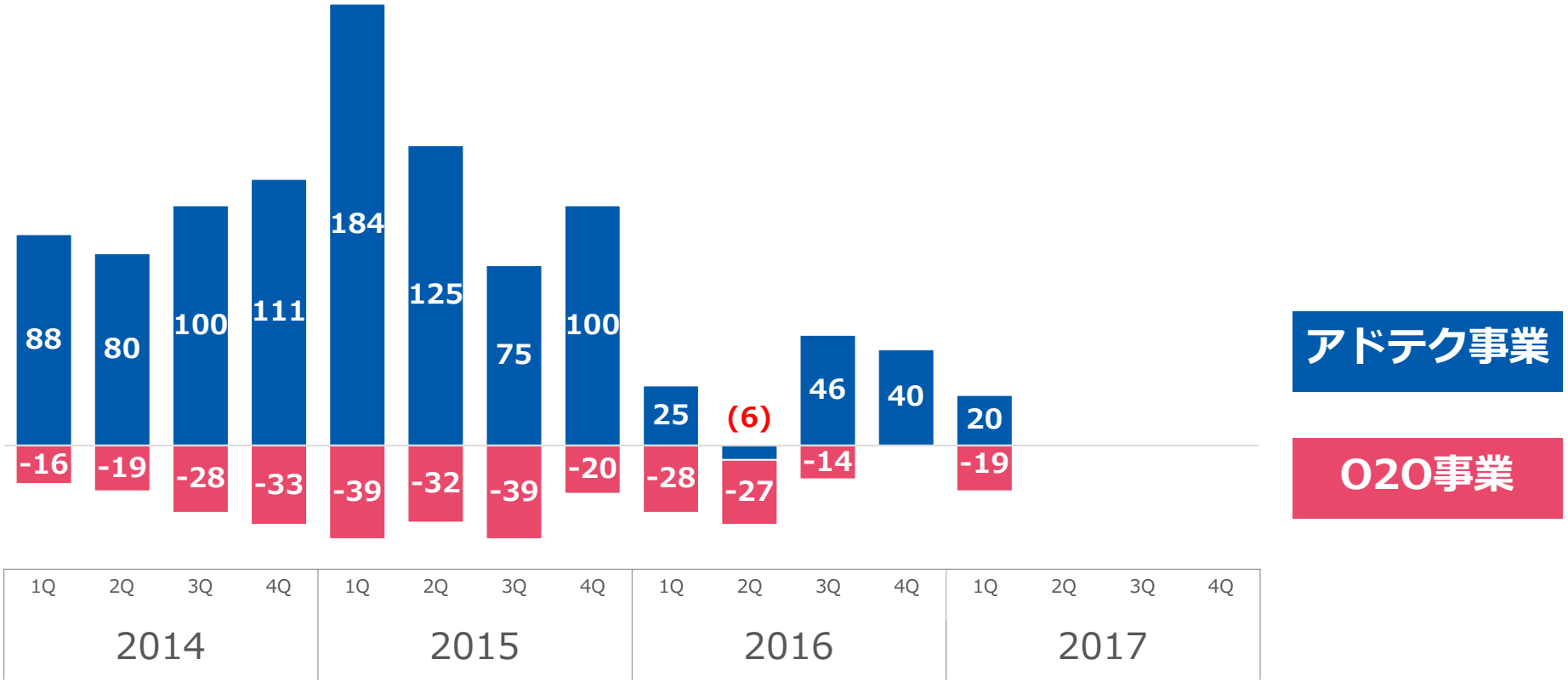


日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

セグメント別営業利益

アドテク事業はグループSEO販売の苦戦と採用費で
21百万円の営業利益。
O2O事業は10百万円が2Qに計上。2Qは黒字化の見通し。

（単位：百万円）



業績予想に対する進捗

期初計画においても下期比率が高く3Q以降の利益成長を想定
通期業績予想の変更なし

単位：百万円	通期業績予想	2017年1-3月	進捗率
売上高	3,000	673	22.4%
営業利益	110	1.1	1.1%
経常利益	108	0.8	0.8%
当期純利益	65	-0.8	–

日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

第1四半期決算概要

貸借対照表サマリ

財務基盤は安定的に推移

（単位：百万円）	2016年 12月末	2017年 3月末	増減
流動資産	1,090	1,150	+60
（現金預金）	455	449	
固定資産	140	137	-3
資産合計	1,231	1,288	+57
流動負債	383	441	
固定負債	2	2	
負債合計	385	443	+58
純資産	846	844	-2
自己資本 （うち利益剰余金）	846(401)	844(400)	
（自己資本比率）	68.7%	65.5%	
負債純資産合計	1,231	1,288	+57

日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

損益計算書サマリ

（単位：百万円）	2016年1Q	2017年1Q	業績予想	前期比
売上高	855	673	3,000	-21.3%
売上原価	694	511		
売上総利益	161	162		
販売管理費	165	160		
営業利益	-4	1	110	-
営業利益率	-	0.2%		
営業外収益	0	0		
営業外費用	0	0		
経常利益	-4	0	108	-
特別損益	-	0		
法人税等	5	1		
当期純利益	-10	-0	65	-

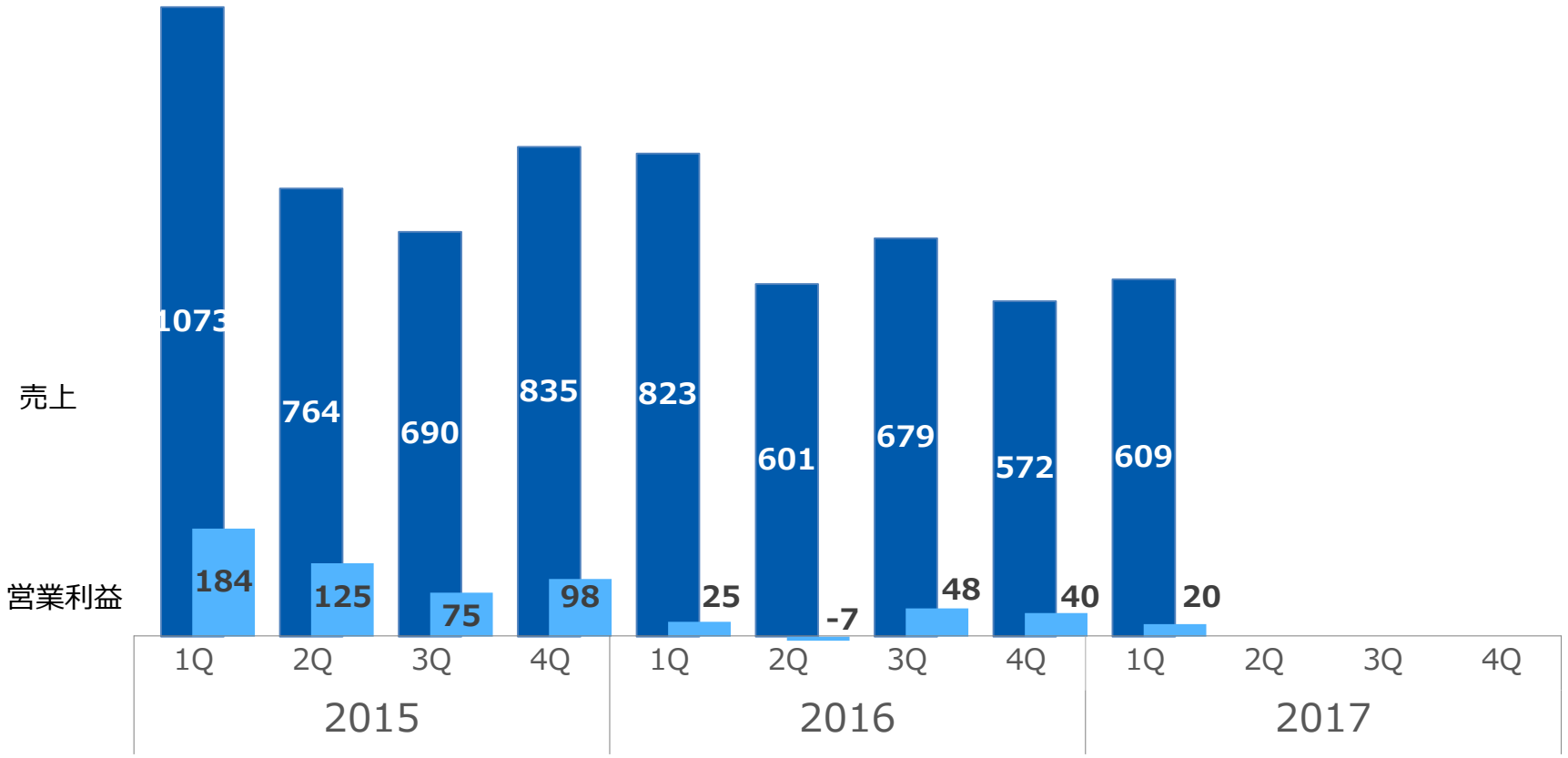
日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

セグメント別概況

アドテク事業

グループ販売SEOの苦戦とアプリ広告の減少を他商材で補う形で回復させる方向性で展開

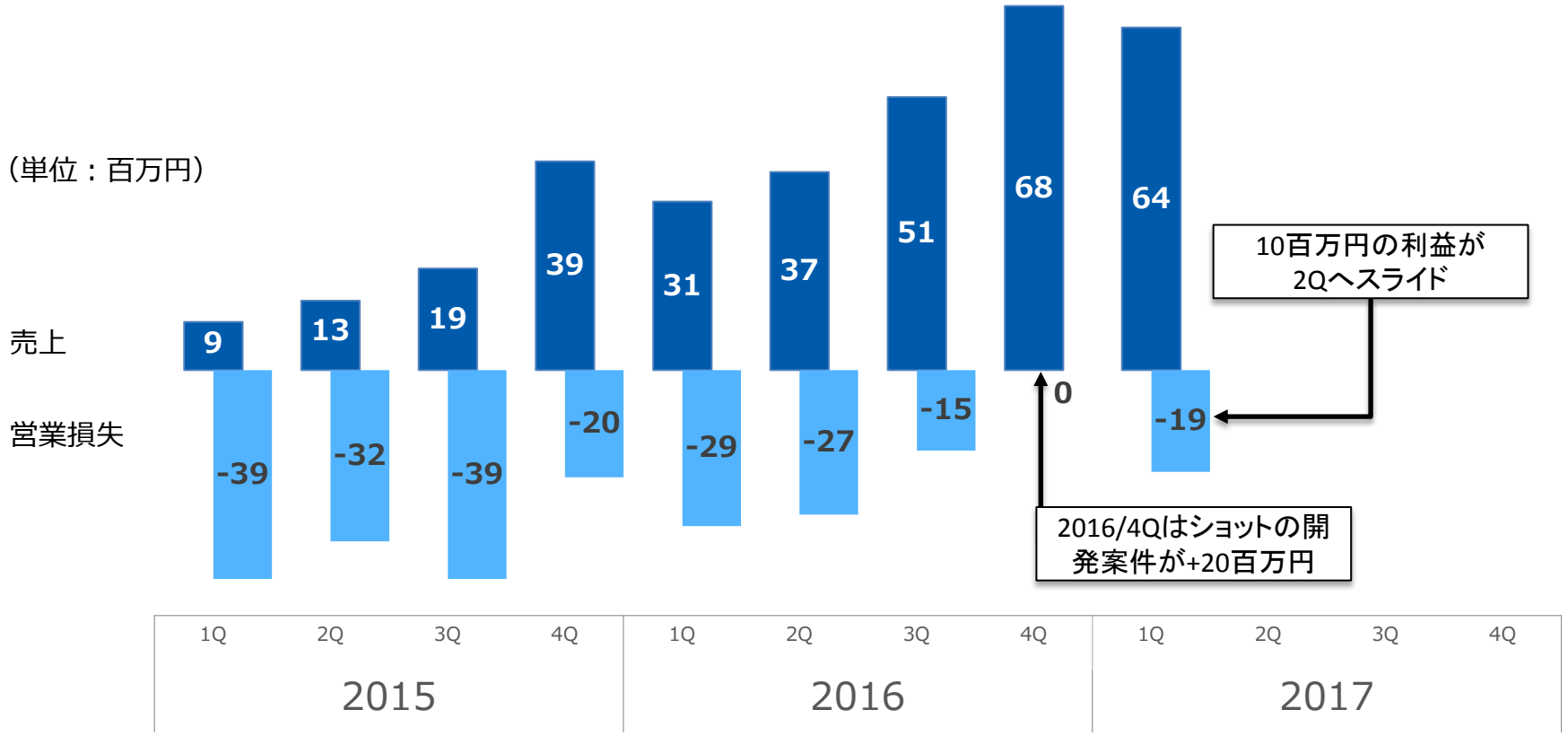
（単位：百万円）



日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

O2O事業

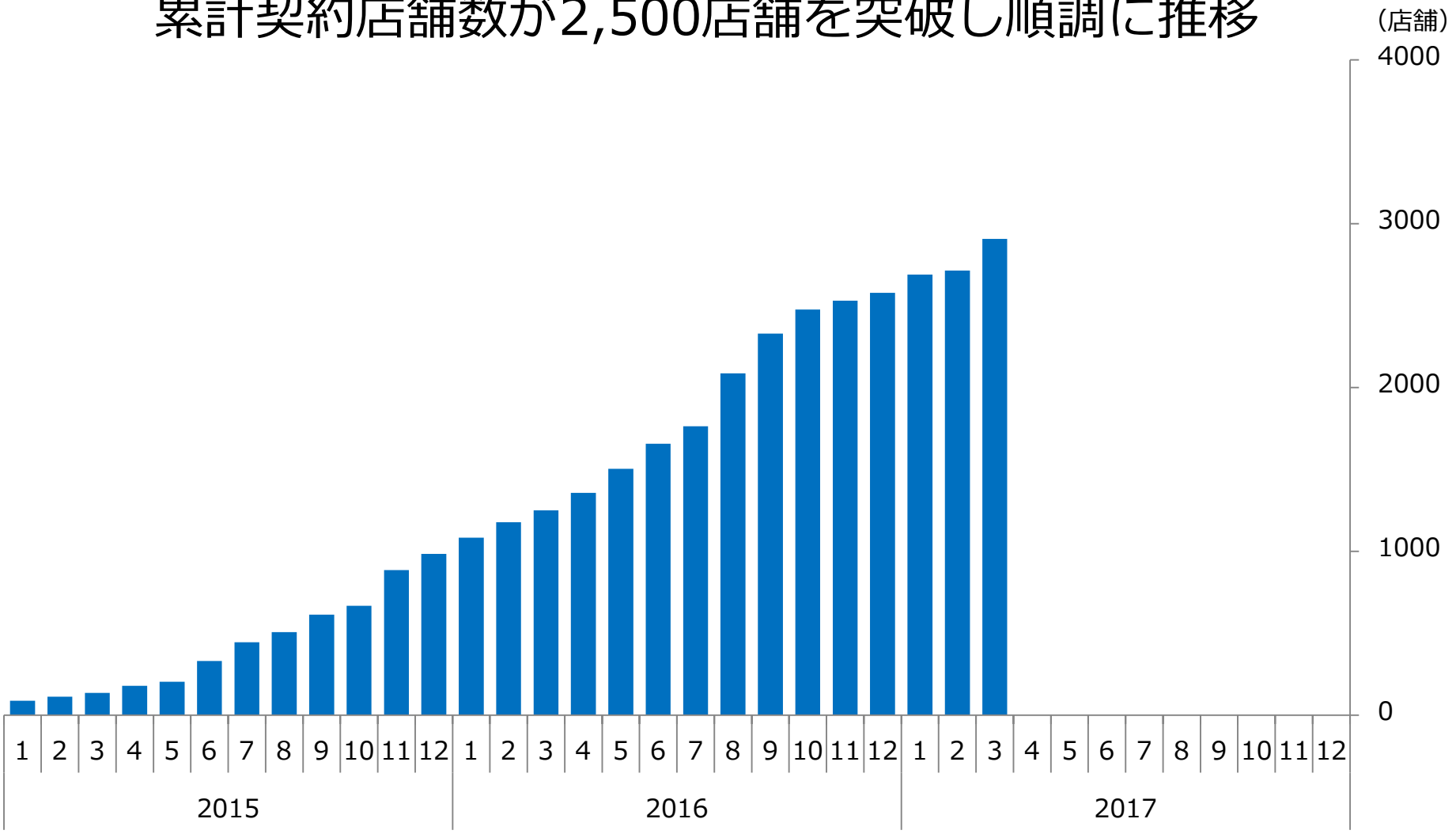
2017/1Q→2Qへの計上＋10百万円の利益および安定成長により2Q以降は黒字化を狙う。



日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

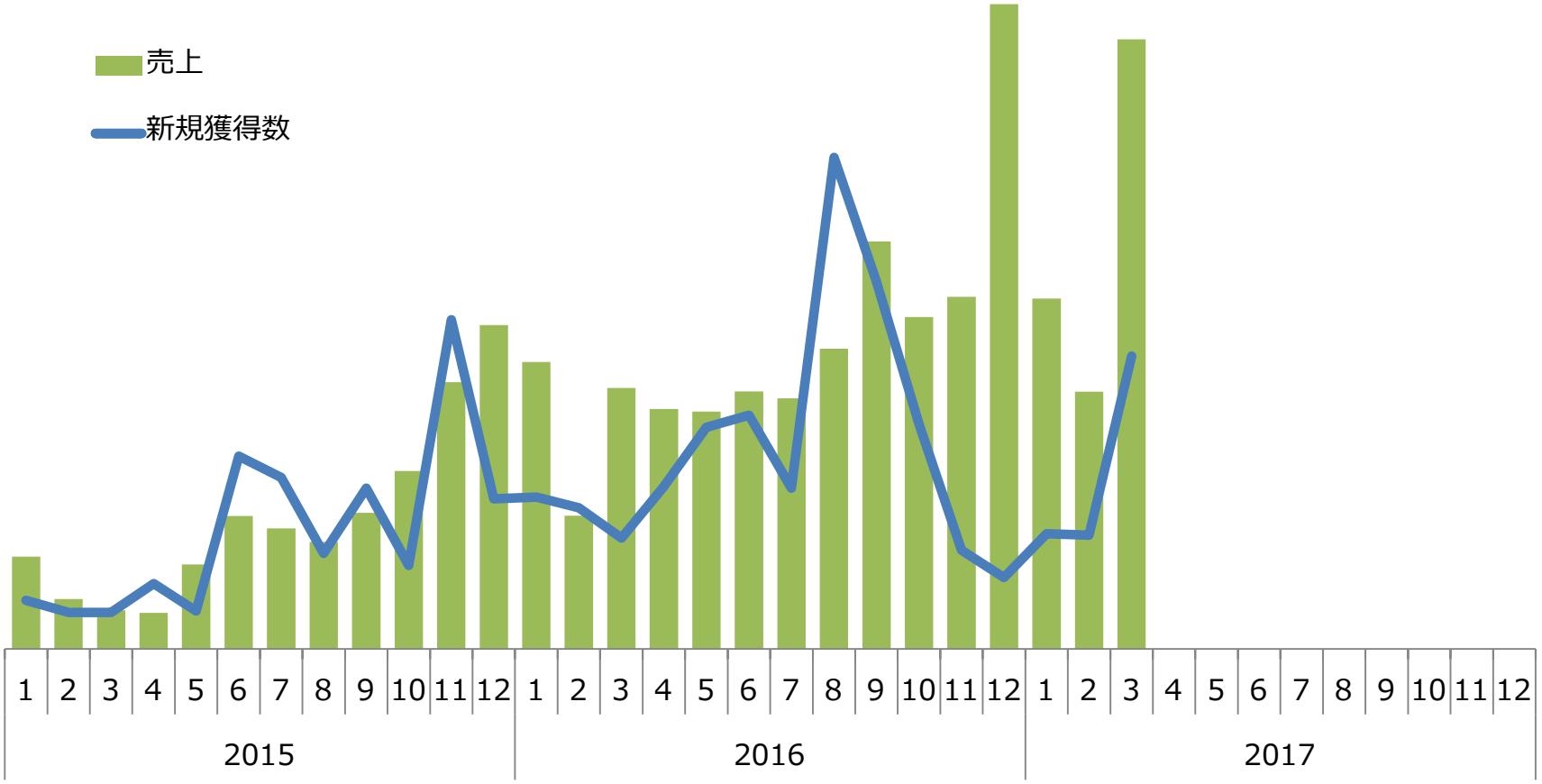
O2O事業

累計契約店舗数が2,500店舗を突破し順調に推移



O2O事業

月次売上および新規顧客獲得も順調に推移
特に2016年12月は大型案件もあり売上伸長



日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

O2O事業

<お客様導入事例>
2017年4月　リッチモンドホテル様 公式アプリリリース

■アプリを利用した施策立案や各種KPI
分析等の販促支援コンサルティングを提供

■主な機能
・ホテルお気に入り登録・ホテル検索
・リッチモンドクラブログイン
・宿泊予約・宿泊特典
・併設レストラン情報・周辺情報
・リッチモンドクラブのご案内
・よくあるお問い合わせ





総　括

2017年の方向性

既存事業・新規事業の両面から
事業ポートフォリオの再構築を進める

アドテク事業	・CPAアフィリエイトASPのリリース（２Q） ・自社アフィリエイト型メディアのリリース（２Q） ・SEO事業のグループ販売から自社販売への転換（２Q） ・宮崎オフィスにおける運用拠点強化（２～３Q）
O2O事業	・国内最大のマーケットシェアの獲得（３～４Q） ・チェーン向け商材の強化（２～４Q） ・新規顧客獲得を目的とした機能強化と リブランディング（２～４Q）

日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

GMO TECH

本資料には、2017年4月27日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。
また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。

Copyright (C) 2017　GMO TECH, Inc. All Rights Reserved.